

Feature Articles

わが社の2030
ケーブルビジョン〈後編〉

- 8 嶋田 創氏 イッツ・コミュニケーションズ(株) 代表取締役社長
10 向山賢悟氏 伊那ケーブルテレビジョン(株) 代表取締役社長
12 伊藤直人氏 (株)ハートネットワーク 代表取締役社長
- 14 「ケーブルコンベンション2022」&
「ケーブル技術ショー2022」レポート
- 23 「通信・放送Week2022」レポート

Close-Up New Solution

- 6 パナソニック コネクト

Convention Report

- 42 「ワイヤレスジャパン 2022」 取材・文/神谷直亮

セミナー情報

- 26 SSK×サテマガBi共催セミナー

TOPIC

- 59 JCOM

Series Articles and Columns

- 28 放送ビジネスの政治経済学 ④ 文/音 好宏
30 メディア・リサーチ「テレビ70年を超えて⑤ 番組大型化の功罪」文/鈴木祐司
32 メディアまんだらげ ④⑤ 「携帯地域電話サービスは不可能なのか〜」取材・文/猪股英紀
38 地産飛翔〜ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック / 機器チェック!)
44 アジア衛星TV最新情報 ④⑤ 文/長瀬博之
46 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧
52 考えるメディア ④⑤ 文/福田 淳
53 ワハハ本舗 喰始のエンターテインメントのツボとボツ ⑤⑦ 文/喰 始
54 Official Information
衛星放送協会 / スカパーJSAT / 日本ケーブルラボ / CRI
58 Information 新作映画紹介 & Convention
60 NEWS FILE 2022年6月28日〜7月29日

DATA

- 36 CS-CHANNEL RANKING
68 定期購読のおすすめ
69 購読オーダーシート
70 Back Number



〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSベイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載していませんが、2022年8月10日に弊社HP (<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2022年8月10日

サテマガ・ビー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子 / 編集長 池和田一里



有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊

メディア融合時代到来!
【コンテンツ至上主義】視聴者が「選ぶ」メディアは?

多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長) 編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

CLOSE SHOT

時代劇専門チャンネルが2023年春に放つ
映画「仕掛人・藤枝梅安」二部作 キャスト総出演ビジュアル解禁!

「時代劇専門チャンネル」(日本映画放送(株)、東京・千代田区、石原隆社長)が池波正太郎生誕100年企画として、2023年春に公開予定している映画「仕掛人・藤枝梅安」二部作(監督:河毛俊作、脚本:大森寿美男)、そのメインビジュアルと特報映像が8月4日に解禁された。

昨年3月12日に製作発表され、大きな話題を集めた池波正太郎の代表作「鬼平犯科帳」「仕掛人・藤枝梅安」の映画化。そのうちの「仕掛人・藤枝梅安」公開日が、第1作2023年2月3日、第2作4月7日に決定した。

豊川悦司主演「仕掛人・藤枝梅安」特報映像

この度解禁されたメインビジュアルには、豊川悦司扮する藤枝梅安をはじめ、相棒の彦次郎を演じる片岡愛之助、梅安が唯一心を許す女性・おもん役の菅野美穂、梅安の身の周りの世話をするおせき役の高畑淳子、鍼の師である恩人・津山悦堂役の小林薫に加え、第一作で本所両国の香具師の元締であり夢・羽沢の嘉兵衛を演じる柳葉敏郎、悲しき過去を背負う女性・おみの役の天海祐希、そして第二作では彦次郎の妻子を死に追いやった浪人・井坂惣市役、その双子の兄・峯山又十郎役の一人二役を椎名桔平、梅安を狙う仕掛人・井上半十郎役の佐藤浩

市が顔を揃えた。特報映像を手掛けたのは、「シン・ゴジラ」で監督・特技監督、「シン・ウルトラマン」で監督を務めた樋口真嗣。斬新な映像と、本編でも音楽を手掛ける川井憲次が書き下ろした楽曲との相乗効果で、時代劇の域を越えた、まさに令和の時代の「新(新)・時代劇」の誕生を感じさせる予告編となっている。

©「仕掛人・藤枝梅安」時代劇パートナーズ42社

